

【十二月の言葉（平成二十九年）】

思い通りにしたいという心が苦しみを生む

思い通りにいかない時、苦しみが生じます。思い通りにしようという心が苦しみを生んでいるのです。

苦しみは個人個人で違います。勉強や走ることが苦しみという人もいれば、勉強や走ることが好きですという人もいます。老いや病や死は、それをしつかり受けとめている人にとってあまり苦しみではないかもしれませんが、私たち凡夫は、老いたくないし、病にもかかりたくないし、死にたくない。だから苦しみなのです。

出会いによって育てられ

別れによって命が深められていく

私たちは嫌いな人や憎らしい人には会いたくないものです。しかしその人たちから教えられ、学ぶこともあります。

「善い人に会って教えられ、悪い人に会って反省すれば善悪ともありがたい」という言葉がありました。

また、親しい人との別れからいろいろなことを教えられます。いのちの尊さ・はかなさ、あたりまえではなくおかげさまのいのちであること、生かされている喜びを教えられます。